

基本計画概要とその背景

—近隣他自治体病院並みの
収益性と効率性獲得が改築の大前提条件—

Vol.1.6

2020年12月6日

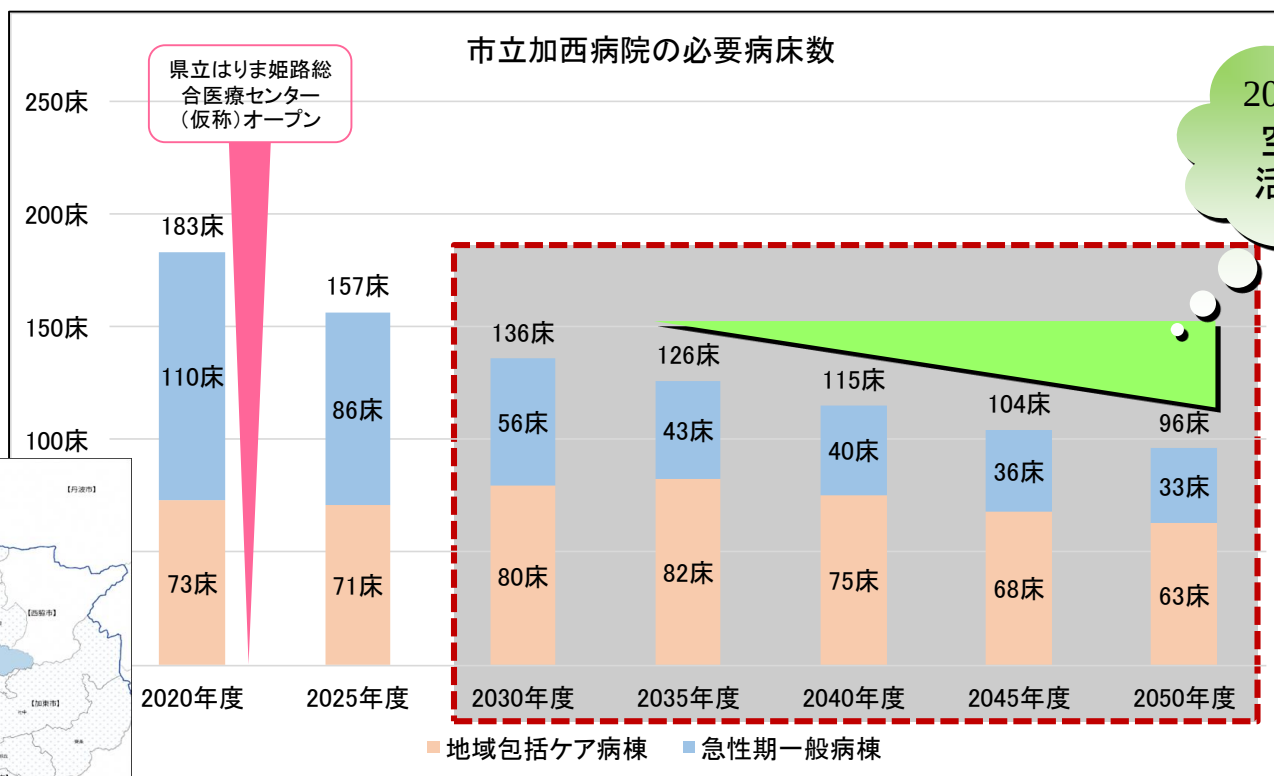
1. 病床規模 —2030年の需給バランスをベースに—

開院後の必要病床数の減少推移を鑑み、病床規模は最大136床程度(2030年度必要病床数)を想定する。

北播磨二次医療圏及び播磨圏域(3拠点病院影響下)

で多く不足していくのは、回復期病床

この地域の
急性
期患者
の動静
は？



2030年以降、
空床をどう
活用するか

2. 新病院の将来基本方針（機能と医療連携）

(1). 将来基本方針

地域包括ケアシステム構築での主導的主体的役割を担い、
診療所・介護事業者含むALL加西でのコンダクターを目指す

入院機能

- ・主要疾患（内科・外科・整形）の二次救急機能までの保有
- ・その他疾患については初期救急（一部 二次救急含む）の提供
- ・ポストアキュート機能の提供
- ・サブアキュート機能の提供

外来・在宅機能

- ・医師会と密に連携し、ALL加西での外来体制の構築
- ・地域の診療所、介護事業者との連携体制の強化
- ・医師会と連携した公が担うべき地域の希求度の高い在宅サービスの提供

2. 新病院の将来基本方針(機能と医療連携)

(2). 新病院の診療科(2030年度)

- 入院対応:内科、外科、整形外科、救急診療科等

原点回帰して 回復期病床＋プライマリケア＋ α をしっかりと

	入院対応	外来対応	備考
内科			
総合診療科	○	○	4月1日に一般内科から科名変更
循環器内科	○	○	
消化器内科	○	○	
神経内科	○	○	
呼吸器内科	○	○	
外科	○	○	
整形外科	○	○	
精神科	△	○	サテライト病院としてのあり方を検討
小児科	地域での機能分担	○	入院患者数が今後減少、外来は継続
泌尿器科	地域での機能分担	○	外来は政策医療として継続
皮膚科	地域での機能分担		入院患者数が今後減少、現圏内シェアも低い
産科	広域政策医療による機能分担		入院患者数が今後減少、現圏内シェアも低い
婦人科	地域での機能分担		サテライト病院としてのあり方を検討
眼科	地域での機能分担		入院患者数が今後減少、現圏内シェアも低い
耳鼻咽喉科	地域での機能分担		入院患者数が今後減少、現圏内シェアも低い
救急診療科	○	○	
麻酔科	○	○	

2. 新病院の将来基本方針(機能と医療連携)

(3). 周辺病院との主要機能分担(案)

Drを含めた全ての医療資源の効率的運用

播磨圏域での無意味な患者奪い合いや機能重複の是正と建設的垂直分業の徹底

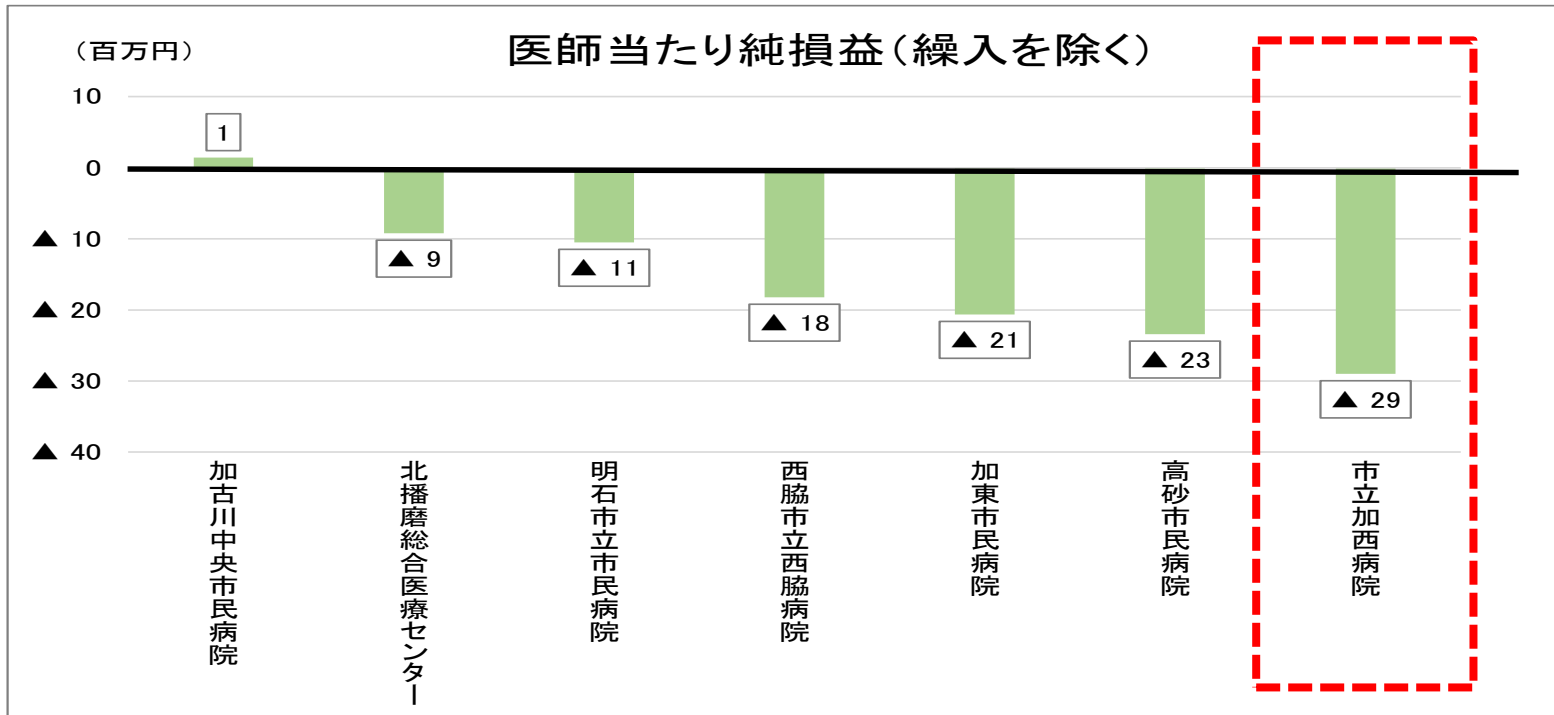
「プライマリケア+α」のゲートウェイ機能を
有する身近な病院

主な5事業5疾病等		当院の主要機能
機能	周辺基幹病院(県立はりま姫路、加古川中央、北播磨総合医療C等)の機能	
がん	がんの診療拠点	がん一般標準治療 外来化学療法 外来対応 緩和ケア機能
脳卒中	手術療法の強化	回復期・維持期
心筋梗塞	手術療法の強化	一部初期救急・回復期・維持期
救急医療	地域で二次～三次救急の完結	初期救急 在宅医療の救急受入対応
小児医療	小児救急	一般外来対応
精神医療・認知症対応	兵庫県認知症疾患医療センター	認知症疾患の早期発見
在宅医療支援	在宅療養後方支援	在宅療養支援機能の検討

3. 新病院整備の大前提条件

(1) 現時点での収益性と効率性

旧モデルに固執し、地域が欲するニーズと提供内容がアンマッチな上、
職員が過剰配置状態となり構造的な経営難に

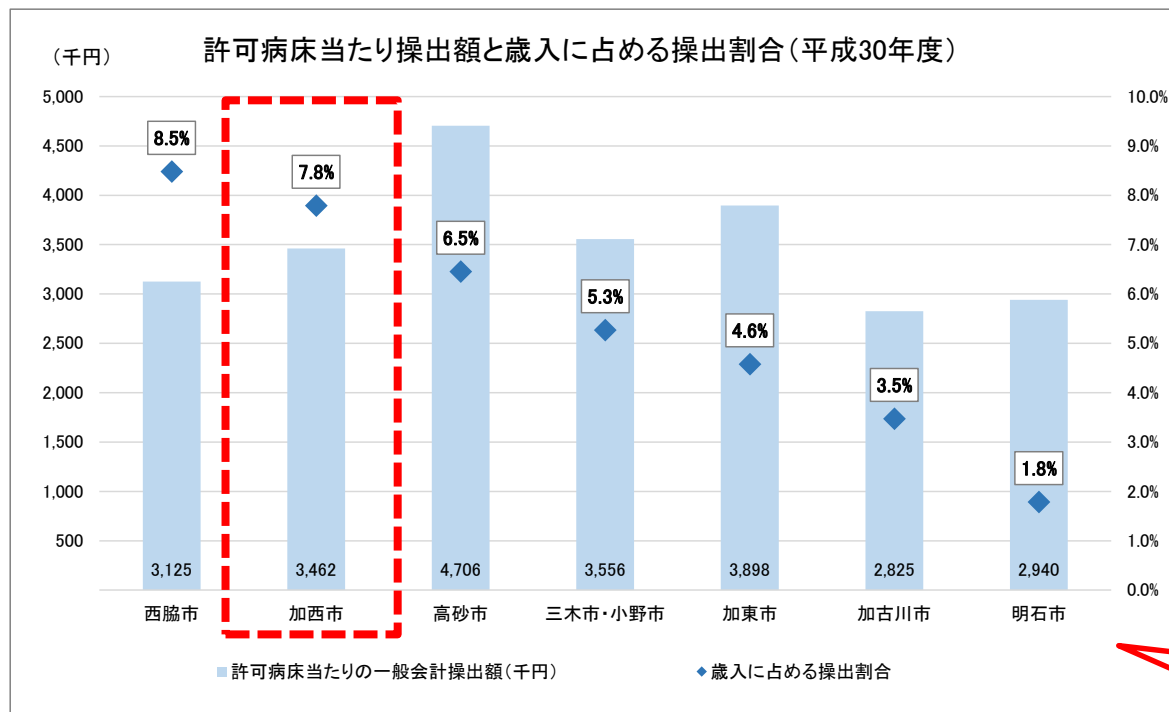


出典:平成30年度大阪・兵庫・和歌山 三府県公立病院事務長研修会資料
平成30年度地方公営企業年鑑、平成30年度病床機能報告

3. 新病院整備の大前提条件

(2) 現時点での財政支援状況の妥当性

拠点病院と同等のサービス水準を目指した故、需要以上の政策医療分野や臨床病院としての枠を超えた機能提供がアダに



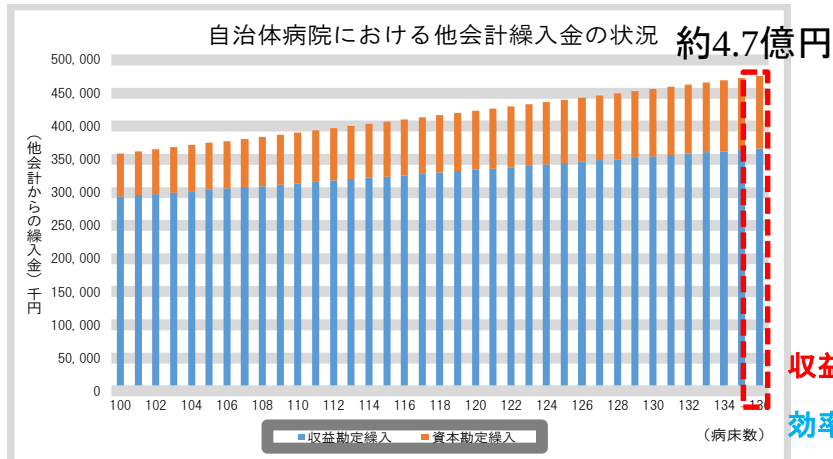
病院名	市区町村
高砂市民病院	高砂市
加東市民病院	加東市
北播磨総合医療センター	三木市・小野市
市立加西病院	加西市
明石市立市民病院	明石市
西脇市立西脇病院	西脇市
加古川中央市民病院	加古川市

病院事業への操出割合
近隣7市平均＝5.4%

3. 新病院整備の大前提条件

(3) 新病院の政策医療にかかる事業費補填 - 極度額6億円/年 -

まずは、同規模他自治体病院の繰入額4.7億円で賄える事業規模と構造に



Remodel = 再構築

旧来の収益構造を
抜本的に見直し、

	現在	必達目標
	直近実績	同規模自治体 病院平均値
病床利用率	84.70%	92.30%
対給与比率	72.30%	50%代

現地建替え
総工費約79億円を
30年償還で見合う
収益構造に

その上で加西市の政策医療として必要不可欠なものを精査吟味の上追加すべき

100～149床規模の自治体病院における平均赤字額

約1.3億円

(=収支均衡のための補填の限度額)

※建て替えによる費用増を考慮し、減価償却費2億円以上の病院を抽出

Reborn = 再生

可及的速やかな
収支均衡/自律的
経営を実現する

二律背反事象

選択と集中

何を捨てて何を採るか

ワークショップでの手引き

進め方でのお約束

全員参加・それぞれの視点が大切

人の意見を即否定しない

作業時間は短く、人の意見は傾聴

予定調和のゴールを目指さない

Cool Heads but Warm Hearts

ワークショップ3 凡例：新加西病院が 担うべき疾患、治療法を考えよう

—垂直分業について対になるものは？—

